

家庭学習の手引き

(夏休み号)

自主的な学習習慣を身につけよう

3・4年生では・・・

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙（言葉）の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになっていっています。

一方で、「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり、意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

学習時間のめやす

1日

40~50分



【学習の特徴】

- ・総合的な学習の時間（かがやき）や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- ・国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- ・算数では、四則計算（+、-、×、÷）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数、面積、図形など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。
- ・外国語活動が始まり、コミュニケーション能力を高めます。

【家庭での援助】

- ・家庭でのあたたかい助言や励ましの言葉でやる気を伸ばしたり、宿題や持ち物の点検をしたりするなど、手助けが必要です。徐々に自分でできるようにさせ、がんばったことを、必ずほめてあげてください。
- ・学習する前に、学習する場所の整理整頓を行い、今日の宿題を確認させ、必ずやりきらせることを続けて下さい。学校からのお便りなどお家の人に手渡しする習慣をつけて下さい。
- ・自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣がつくように声かけをしてあげて下さい。
- ・テレビを見ながらやお菓子を食べてながらなどの「ながら学習」をしないで、集中して学習させて下さい。
- ・社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などに触れさせる体験を増やしてあげて下さい。



小学校の学習は、社会人として将来自立するための基礎となるものです。特に、「読むこと」「書くこと」「計算すること」は、生活する上で欠かせないものです。

学校では、「一人ひとりの子どもへのきめ細かい指導」を行い、スラスタイムや朝読書などを通して基礎学力を高める取組を行っていますが、ご家庭と協力することにより、子どもたちの力は、さらに高まり定着していきます。

この手引きをよく読んでいただき、家庭学習の習慣化に向けて、ご協力をお願いいたします。



【家庭学習の内容】

☆家庭学習とは、宿題はもちろん、読書や自ら進んで行う学習も含まれます。

国語 ・音読・漢字練習・意味調べ・視写・日記など

算数 ・計算練習・百マス計算・文章問題

・テストで間違えた問題をもう一度ノートに写して解いてみる。

社会や理科など

・学習したことに関係のある事からを本や事典で調べてまとめる。

☆市販のドリルや問題集なども活用してみましょう。



【各学年で身につけたい力】

自分から学び始める3年生

- ① 3年生で習う漢字200字が読めて書けるようになる。
- ② 理由をつけて、わかりやすく話したり、書いたりすることができる。
- ③ 国語辞典を使って言葉を調べることができる。
- ④ かけ算・わり算ができる。
- ⑤ 重さをはかり、表すことができる。
- ⑥ コンパスを使って三角形がかけられる。
- ⑦ 1億までの数を読んだり、書いたりすることができる。



七転び八起きの4年生

- ① 4年生で習う漢字202字が読めて書けるようになる。
- ② ローマ字の読み書きができる。
- ③ 国語・漢字辞典を正しく使える。
- ④ わり算の筆算ができる。
- ⑤ 小数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ⑥ 分母が同じ分数のたし算とひき算ができる。
- ⑦ コンパスを使って、図形がかける。
- ⑧ 47都道府県の位置が分かり、県名が書ける。

